

議案審議／賛否の状況

意見書／委員会報告
／百条委員会設置

委員会調査報告

政務活動費の使い道
／一般質問

一般質問

表紙写真応募者の声／
日程（9月定例会の予定）

コウノトリの足環装着を見守る
東河小学校3年生(久田和区)

朝来市 議会だより



第91号

令和6年
6月定例会

全支所に 窓口システムを 配備



6月定例会が、5月30日から6月24日まで26日間の会期で開かれ、条例の一部改正6件、令和6年度補正予算2件などが提案されました。

条例改正等については所管する常任委員会で、補正予算については予算決算特別委員会で審査を行いました。

最終日には1件の意見書提出について文教民生常任委員会が発議し、また、地方自治法第100条第1項により請願受理および個人情報取扱に関する調査を行う特別委員会の設置を求める動議が森下議員から提出され、ともに賛成多数で可決しました。

一般会計補正予算

補正3560万円可決

令和6年度一般会計補正予算（第1号）は、現予算額に合計3560万円を増額し、総額217億8560円とするものです。

予算決算特別委員会で審査し、全会一致で可決しました。

質疑

問 自治体DX推進事業について伺う。特に大きなライフイベントである、引越越し、出生、死亡の時などに、たくさんの方の窓口を回らなければならないというのは非常に負担だという意見もある。そういった意味で、いわゆるワンストップの手続きが求められていると思うが、今回の事業でそこまでのワンストップが実現できるのか。

答 今回導入する窓口システムは、書かない窓口を目指すことを大きな目的としている。

内容としては、現在手書きいただいている申請書への記入を省略できるようにすることを一

番の目的としている。ワンストップサービスの関係も、市役所の業務として、今後必ず取り入れていかなければならない。

今回は窓口での申請を省略化できるような取組を行い、ワンストップサービスの取組も順次進めていく。



▲全支所に設置される証明書交付機

財産の取得について

質疑

問 昨今、オートマチック車で3.5t未満の消防ポンプ自動車も出てきているが、検討は。

答 当該車両があることは把握

しているが、出力が小さくなることもあり、今後研究していく。

問 3.5t以上の車を運転するには準中型以上の免許が必要。消防団員のオートマ限定解除や準中型免許の取得に対する補助金の交付実績は。

答 令和5年度では、準中型免許の取得で1名、オートマチック限定免許解除で1名の方が当該助成を利用されている。



▲今回購入するものと同型の消防ポンプ自動車



(補正予算(質疑))



(財産の取得(質疑))



(議案審議)

6月定例会で審議した議案等に対する賛否の状況

議 案 名		議 員 名															
		上田幸広	横尾正信	松井道信	水田文夫	加藤貴之	関綾乃	吉田俊平	尾崎里美	藤原正義	足立美伸	西本英輔	浅田郁彦	藤本邦彦	日下恒茂	森下夫博	嵯峨山龍司
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて (朝来市税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて (朝来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて (朝来市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第4号	専決処分の承認を求めることについて (朝来市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	兵庫県市町村職員退職手当組合理約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	兵庫県町議会議員公務災害補償組合理約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	兵庫県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	朝来市税条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	朝来市福祉医療費助成条例の一部を改正する 条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	朝来市下水道条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	朝来市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する 基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	朝来市プロポーザル審査委員会条例の一部を改正する 条例制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
議案第45号	財産の取得について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	令和6年度朝来市一般会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	令和6年度朝来市水道事業会計補正予算(第1号)に ついて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	調停の成立について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	朝来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定に ついて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第7号	朝来市和田山町土田、平野、東谷財産区管理会委員の 選任につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第8号	朝来市和田山町寺谷財産区管理会委員の選任につき 同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の引き上げをは かるための2025年度政府予算に係る意見書採択の請願に ついて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第4号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の引き上げに 係る意見書の提出について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	地方自治法第100条第1項の規定により、請願受理及び 個人情報取扱の事務に関する調査を行う特別委員会の設 置を求める動議	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
-	請願受理及び個人情報取扱の事務に関する調査を行う 特別委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成した議員は○ 反対した議員は× 欠席した議員は欠

※議長には通常、表決権がありません。

教職員定数改善と義務教育費

国庫負担率の引き上げに係る意見書

閉会中の5月に、朝来市教職員組合（執行委員長 久茂田 浩介氏）から請願（紹介議員 嵯峨山 博）が提出され、文教民生常任委員会で審査を行いました。

最終日、委員長報告のとおり全会一致で採択し、この採択に伴い委員長から発議された意見書については賛成多数で可決し、関係機関に提出しました。

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率の
引き上げに係る意見書（抜粋）

【要望事項】

1. 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 自治体で、国の学級編成標準より引き下げた「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう、加配の削減はおこなわないこと。
4. 教職員未配置問題の解決にむけ、必要な財政措置を講じ、人材確保に努めること。
5. 新卒者の就業機会や教職員の年齢構成のバランス確保等の観点を中心に考慮し、すべての自治体で定年引上げ期間中に教職員の安定的な新規採用ができるよう、定数加配措置をはじめとした必要な財政措置を講ずること。
6. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財源を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること。

【提出先】

内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣、総務大臣

閉会中（4月～5月）も委員会活動に取り組みました



委員会	開催日	調査・協議事項	委員会	開催日	調査・協議事項
総務常任委員会	4月17日	消防団について 区長報償費について	議会運営委員会	4月4日	第18回定例会の日程について等
	5月8日	小浜市視察 （窓口業務の一部 民間委託について）		4月15日	政治倫理審査 審査請求について等
	5月16日	管内視察 （生野庁舎整備について） 行財政改革について		5月17日	第18回定例会の議案について等
文教民生 常任委員会	4月12日	健康増進について	広聴広報 常任委員会	4月5日	議会だよりの編集・発行について等
	4月30日	健康増進について		4月19日	議会だよりの編集・発行について等
	5月13日	健康増進について		5月7日	議会だよりの編集・発行について等
産業建設 常任委員会	4月10日	畜産団地共同畜舎について 土づくりセンターについて 夜久野高原について	朝来市自治 基本条例検証 特別委員会	4月11日	議員アンケートの確認等
	5月10日	畜産団地共同畜舎について 公共交通について 電子地域通貨等について 観光施設等について		4月25日	議員アンケート回答の確認等
				5月17日	提言及び報告書についての確認等
			議会改革 調査特別 委員会	4月11日	芽室町議会の議会改革について等
				4月25日	芽室町議会の議会改革について等
				5月9日	市長と市議会議員の 同日選挙について等
				5月24日	市長と市議会議員の 同日選挙について等

百条委員会を設置

請願受理及び個人情報取扱事務調査特別委員会

6月定例会最終日の6月24日、地方自治法第100条第1項の規定により、請願受理及び個人情報取扱の事務に関する調査を行う特別委員会の設置を求める動議が議員から提出され、質疑及び討論の後、表決の結果、賛成多数で可決し、請願受理及び個人情報取扱事務調査特別委員会を設置しました。

決議事項

1 調査事項

令和6年6月17日受付、請願第3号について

(1) 請願受理権の濫用に関する事項

(2) 個人情報の目的外利用に関する事項

2 特別委員会の設置

本調査は、地方自治法第109条及び朝来市議会委員会条例第6条の規定により、委員8人で構成する請願受理及び個人情報取扱事務調査特別委員会を設置し、これに付託して行う。

3 調査権限

本議会は、1に掲げる事項の調査を行うため、地方自治法第100条第1項の権限を、請願受理及び個人情報取扱事務調査特別委員会に委任する。

4 調査期限

請願受理及び個人情報取扱事務調査特別委員会は、1に掲げる調査が終了するまで、閉会中もなお調査を行うことができる。

5 調査経費

本調査に要する経費は、70万円以内とする。

構成委員

委員長：日下 茂

副委員長：藤原 正伸

委員：横尾 正信 水田 文夫 加藤 貴之

西本 英輔 嵯峨山 博 淵本 稔

請願とは？

請願とは、国や地方公共団体などの公共機関に対して、その所管する事務について一定の措置を行うよう（または行わないよう）要望を伝える行為のことです。請願権は、日本国憲法で基本的人権の1つとして保障されており、誰でも、1人でも請願をすることができます。

地方公共団体の議会に請願するためには、地方自治法の定めにより、文書で提出しなければなりません。また、当該地方公共団体の議会の議員の紹介を必要とします。

百条委員会とは？

地方自治法第100条に基づき、議会の議決により設置される調査委員会の略称。地方議会が自治体の事務に関する調査を行うため、関係者の出頭、証言、記録の提出を求めることができ、正当な理由なくこれを拒否した場合又は虚偽の陳述を行った場合は、刑事罰に処せられる可能性があります。





委員会調査報告

総務常任委員会調査報告

生野庁舎等整備に関する事項

調査の概要

生野庁舎等の整備において、生野図書館が一新されることから、生野図書館の現状と今後の運用について担当課から説明を受けた後、質疑を行った。また、生野庁舎内にある生野図書館の現地調査も実施した。

委員会のまとめ及び意見

委員会では、当局が示す現在の計画では、生野地域の生涯学習の場として不十分という三名の多数意見と、現在の計画を踏まえ他館との連携を一層進めるなどして図書室の利用促進を図るべきとの二名の少数意見が出され、意見の内容は下記の通りである。

多数意見は、予約による貸出では図書を手にするまでの間にタイムラグが生じること、子どもが長期休暇等で勉強するスペースが取れないこと、図書館を整備する上では多様な利用を想定することが必要で統一的な

一つの世界観が必要であること、面積の半減や蔵書数の半減は縮小感を否めないこと、図書館の役割は貸出に留まらず生涯学習の場として活用されるべきものであること、新庁舎の建替えにおいては新しい図書館の形が望ましいとのことであった。

少数意見は、住民サービスの平等も必要であるが当局提案を住民に理解して貰うことも重要であり他館との連携が望ましいこと、生野町3千人の住民のサービス向上を図るよりも和田山図書館、あさご森の図書館の蔵書数20万冊を有効活用すべきではないか、現在の図書の検索方法の見直しなどの工夫が良いのではないかとのことであった。

窓口業務の一部民間委託について

調査の概要

福井県小浜市を視察し、委託の経緯や効果、自治体DXとの関係等について調査を行った。

委員会のまとめ及び意見

①評価

・利用者アンケート（回答件数149件）によると、実に

90%の回答が「とても良い」、「良い」であったことから市民から非常に高い評価を受けている。

・多くの方が難しく感じる事柄や法律関連について、窓口で遠慮無くワンストップで相談できるのは市民にとって非常に魅力的である。

・アウトソーシングでは、専門的な人員の確保に加え、必要な部署・時期にスピーディーに雇用調整しやすい。

・事務分掌の分担や作業の標準化を行うことで、業務改善と作業効率の向上に繋がっており、民間のアイデアやノウハウを活用し、市民サービスの向上が実現できている。

・自治体DXは令和4年6月に「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が閣議決定され、目指すべきデジタル社会のビジョンとして改めて位置づけられた一方で、小浜市の窓口業務一部民間委託は平成27年度から開始されている中で、AIやRPA（自動化）等の自治体DXの検討がなされ、書かない窓口も実施に向け検討されている。

②課題

・委託会社社員に窓口対応は委託しても、同じレベル若しくはそれ以上の知識や応用力、説明能力などは、異動により新たに配置された職員も含め従来通り保持することが望ましく、日々の業務以外でのスキルや個々への対応で日々磨かれる応用力の確保は容易ではないと思うので、その能力維持は課題の一つである。

・市民にとって窓口は「市役所の顔」的なセンシティブなポジションとも言えるので、本庁舎コンシェルジュと共に職員のプロフェッショナルな対応と知識を市民に見せることも、行政への安心を生み出しているのだということとを忘れてはならない。

・民間委託を効果的に機能させ、自治体サービスの質の向上と効率化を実現するためには、なにより各自治体の現在のDXの進捗状況、技術的な制約、住民のニーズの考慮が必要である。

産業建設常任委員会調査報告

畜産団地共同畜舎に関する事項

調査の概要

畜産団地共同畜舎の臭気等に関する調査については、調査費として2か年で295万7900円を予算措置し調査を行い、結果等について農林振興課から説明を受けた。

本市では物質分析による規制を基準としているため、物質分析調査が、令和4年度に2クールに分けて2カ所の調査地点で実施された。第1クールでは「検出せず又は基準以下」、第2クールでは「検出せず」の結果であった。また、本市では臭気指数による規制基準を設けていないが、基準点を含む3地点で2日間臭気調査が実施された。業種別規制基準による臭気指数でみると、2地点で基準を超えた日が1日間あった。

令和5年度も2クールに分けて2カ所の調査地点で実施された。第1クールでは「全て規制基準以下」、第2クールでは、12月26日の調査において、ノル

マル酪酸（汗臭い臭い）が規制基準値を0.0003volppm上回ったため、追加調査を実施し、「全て規制基準以下」の結果を確認した。原因として、令和5年8月15日に本市を襲来した台風7号で鶏舎の一部が床上浸水の被害を受け、その時に冠水した鶏糞を堆肥舎で保管し乾燥させていたが、この鶏糞を搬出したのが調査の前日であったため、その影響が残っていたと報告を受けた。

前年同様、基準点を含む3地点で2日間、臭気調査が実施され、基準以下であった。

臭気に関する調査以外にも、澤区役員及び指定管理者である沢養鶏生産組合役員を参考人として、現状並びに臭気に対する対応策等について意見聴取し調査を行った。

委員会のまとめ及び意見

畜産団地共同畜舎の臭気等に関する調査が2年にわたり実施された結果、再調査も含め全て規制基準以下であった。その間、臭気対策として鶏糞を一時保管せず、すぐに搬出するなど課題改善を行い、施設管理に取り組

まれている。
担当課においては、環境問題を含め適切な施設管理が行われるよう努められたい。

朝来市自治基本条例検証 特別委員会調査報告

朝来市自治基本条例第32条に基づき、朝来市自治基本条例の検証及び検証に関する調査研究

調査の概要及び委員会における意見

中間報告で指摘したように、朝来市自治基本条例（以下「同条例」という。）については、施行後、長きにわたり検証作業が行われてこなかった。その結果、本市におけるまちづくりの柱となるべき同条例が、市民にも十分理解されないまま今日に至ったことは遺憾である。

当局は、令和4年度に庁内検証を行い「内部検証報告書」を基に朝来市自治基本条例審議会が審議し、「朝来市自治基本条例検証報告書」を取りまとめた。朝来市自治基本条例検証特別委員会では、これまで24回の委員会を開催し、同条例について、

前文をはじめ条項別に実施状況及び条文の検証を進めた。同審議会の大杉覚会長を参考人として招致し、審議会の内容、当委員会が検証してきた内容、地域自治のあり方について意見交換を行うなど、調査を進めた。また、各地域自治協議会役員との一般会議の開催、担当課及び法制担当との意見交換を行うとともに、全議員への検証内容に関するアンケートを実施するなど、当委員会が考える時代に即した改正ポイントについて整理を行った。

当委員会では、今後、来るべき改正時期を見据え、市当局において参考となるべき各条項の課題等について意見交換を行い、別紙整理表に取りまとめた。同条例は、住民自治を進める本市の大黒柱であり、市民、市議会及び市長等が同条例を念頭に置いてまちづくりを進めていくことが重要である。今後は、同条例の啓発チラシやパンフレットを作成するとともに、市民への啓発活動に積極的に取り組むなど、市民等に、より身近な条例となるよう努めなければならない。

政務活動費の使い道

政務活動費は、議員の政策提言に必要な調査研究・研修などの経費として、各会派に対して交付されています。

ここでは、会派ごとの令和5年度政務活動費収支報告をお知らせします。

各会派の活動内容

清風の絆

先進的な取組を行っている地方自治体等への視察調査、全国地方議会サミットへの参加等を行なった。

朝来市創生の会

新潟県見附市、和歌山県有田市など、先進地視察を行なった他、広報紙（会派活動報告）を市内全域に配布した。

自由倶楽部

市町村アカデミーが開催する研修を受講し、全国各地の地方議会議員と情報交換を行なった。また、先進地視察も実施した。

朝来市議会公明党

品川区立環境学習交流施設「エコルとこし」等を視察した。また、全国地方議会サミットへの参加も行なった。

コンセルヴァトゥール

岩手県遠野市「こども本の森」など、先進地視察を実施。また、政策提言等に必要な調査研究のため、書籍を購入した。

令和5年度政務活動費収支報告一覧

令和5年4月～令和6年3月分

(単位:円)

		清風の絆	朝来市 創生の会	自由倶楽部	朝来市議会 公明党	コンセルヴァ トゥール	合計
人数	R5.4月～R5.12月	8人	4人	3人	1人	1人	17人
	R6.1月～R6. 3月			4人			18人
収入	政 務 活 動 費	960,000	480,000	390,000	120,000	120,000	2,070,000
支出	調 査 研 究 費	905,922	278,627	163,266	120,740	166,145	1,634,700
	研 修 費	70,550		278,820	10,000		359,370
	広 報 費		218,947				218,947
	広 聴 費						0
	要請・陳情活動費						0
	会 議 費						0
	資 料 作 成 費						0
	資 料 購 入 費					39,985	39,985
	計	976,472	497,574	442,086	130,740	206,130	2,253,002
	収支差引残額	△ 16,472	△ 17,574	△ 52,086	△ 10,740	△ 86,130	△ 183,002
	(実質政務活動費額)	(960,000)	(480,000)	(390,000)	(120,000)	(120,000)	(2,070,000)

※収支差引額がプラスの場合は返納しています。

政務活動費を充てることができる主な経費

調査研究費……会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究に要する経費

研 修 費……会派が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会への参加に要する経費

資料購入費……会派が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費

広 報 費……会派が行う活動、市政について市民に報告するために必要な経費



(政務活動費)



市政を問う



一般質問(代表・個人)では、市長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来の方針等について問い質し、また、行政施策に対する提案等も行います。

なお、内容と写真は各議員が560字以内にまとめ提出したもので、質問順に掲載しています。紙面の制約上、質問・答弁とも要約されており、文責は各議員にあります。

○雇用について

問 安心して女性が仕事と子育てが両立できる環境を整備する必要がありますか。

答 採用予定者数に、長期休業が想定される職員数を上乗せした採用計画を立て、年度当初から労務職員を配置するなど、環境整備を行っている。来年度から保育教諭については、復職枠を設け、保育教諭の慢性的な不足解消を考えており、保育教諭の労働条件の確保にも努めていきたい。

○子育て支援について

問 子育て世帯への経済的な負担を軽減する恒久的な支援として、学校給食費の無償化を求めたが。

答 令和6年4月現在の兵庫県内では、小中学校どちらも無償化している自治体が7団体、中学校のみ無償化している自治体が3団体であるが、毎年、給食費を値上げするように表明している自治体もある。本年度も、



代表質問

子どもは社会の宝

朝来市創生の会 嵯峨山 博



学期無償化を行い、財政状況を見ながら検討する必要がある。

問 高校生等への通学費の助成を求めているが検討しているか。

答 高校生の通学助成については、高校生のいる御家庭の経済負担を軽減することに加え、公共交通機関の利用促進にもつながる。しかし、第5学区のみ助成すれば不公平感を生むおそれがあり、全ての高校生を対象とすれば、市外の高校への進学を助長させる影響もある。今後においても、慎重に検討する。



▲高校生等の通学補助 早期実現を望む



個人質問

市民の人権を守るため 本人通知制度の拡充を

淵本 稔



○デマンド型乗合交通の状況

問 生野で運行されているデマンド型乗合交通の、運行状況を明らかにしたい。

答 4月で運行日数25日、運行件数519件。5月で運行日数24日、運行件数546件で、いずれも通院利用が一番多い。

問 電話予約の際、オペレーターは親切な対応だが、インターネットで予約しようと、予約画面で登録した自宅住所を打ち込んでも認識されない。

答 確認し適切な対応をする。

○本人通知制度の改良を

問 東京行政書士会が、特定の行政書士が職務請求書を悪用して不正に戸籍謄本を取得した疑いがあるとして全国に通知されたが、朝来市において使用されたことはあったのか。

答 当該行政書士からの職務請求用紙による戸籍謄本等の申請は確認されなかった。

問 こうした不正を防止するためにも本人通知制度は有効なの



▲自宅前まで迎えに来るデマンドバス

で、人権講演会等に参加したその場で登録できるように工夫が必要だ。

答 他市で行っているように、登録の際に身分証明書を必要とせずに行うことも検討したい。

問 情報流通プラットフォーム対処法が制定されたが、インターネット上の誹謗中傷・差別煽動にどう対応するのか。

答 人権相談、インターネットモニタリングを行い、国や県とも連携して取り組む。

アフターコロナの 経済支援を！



個人質問

吉田 俊平



問 住宅リフォーム助成制度を年2回実施してはどうか。

答 来年度以降申請時期や予算の増額について対応したい。

問 飼料価格高騰対策支援事業の恒久化や再開を。

答 事業実施に向け財政等を見極めながら対応したい。

問 事業者のマスクメディア露出実績をPRしてはどうか。

答 事業所の魅力がより伝わるPRの方策を研究したい。

問 あさごグルメを認定してアピールしてはどうか。

答 観光協会と連携しグルメPRが行えればと考えている。

問 太陽光の発電施設設置補助事業を創設すべきではないか。

答 電気代高騰による負担軽減を目的に補助制度を研究したい。

問 市内経済を回すため地域経済振興基金を創設してはどうか。

答 基金造成も調査研究したい。

問 道路整備等について
和山出石トンネルを整備してはどうか。



▶樹齢二〇〇〇年の糸井大カツラに管理道を！

答 採択や経済効果など課題があることは認識して頂きたい。

問 竹田城跡の観光動態を回復させるためスマートインターチェンジを設置するとともに市道竹田城跡線を整備してはどうか。

答 なかなか難しい課題がある。

問 林道黒川与布土線を整備してはどうか。

答 林道黒川与布土線を整備してはどうか。



個人質問

住み続けたい

元気で美しい朝来市

水田文夫



○農業振興について

問 農産物のブランド化のために兵庫安心ブランドや有機JASなどのブランド認証取得へ助成制度は考えられないか。

答 県や関係機関と調整を行い、有機農業の普及を検討したい。

問 市内の専業農家が野菜を関西圏へ出荷できる体制を築いてほしい。また、今あるルートも大事にしてほしい。

答 農業者と集出荷される業者、その対応できる業者とのつなぎ役、また体制づくりは、検討していく必要があると思っている。

○消滅可能性自治体

問 市は消滅可能性自治体警鐘を鳴らされましたが。

答 人口の自然減対策、社会減対策を考える上で、二〇代から三九歳の若い女性の人口流出の抑制、出生数の増す取組を、スピード感を持ちながら、さらに充実したい。

問 まちを出ていった若者が戻ってくる教育と子供を産み育

てる環境が必要ではないか。

答 (市長) 人口政策を最重要課題に置き様々な施策を展開している。本年度から妊産婦や子育て中の保護者、子供への支援体制を充実強化する「こどもみらい部」を設置して、加速化を図れる。

答 (教育長) 朝来の特色ある学校づくり事業、あさごドリムアップ事業を、地域の皆さんの協力を得て行い、ふるさと愛の醸成を図っている。



▲たじまピーマンは、40a 作付けで約1千万円の売上額に！



個人質問

人は減っても朝は来る

加藤貴之



○人が減るなら自然を増やそう

問 住む家の維持促進のため、空家活用促進補助金と住宅リフォーム助成事業は統合すべき。

答 統合せず利用者の相談に応じて各事業につなげたい。

問 住まない家の解体促進のため、解体後の土地の固定資産税の減免を行うべき。

答 減免は一定の効果が期待されるが、税負担の公平性から慎重に検討したい。

問 生前の検討を促進するため、朝来市版ACP(人生会議)に相続に関する内容も含めるべき。

答 相続は高齢者にとって大きな心配事。検討したい。

問 街路樹を増やすべき。

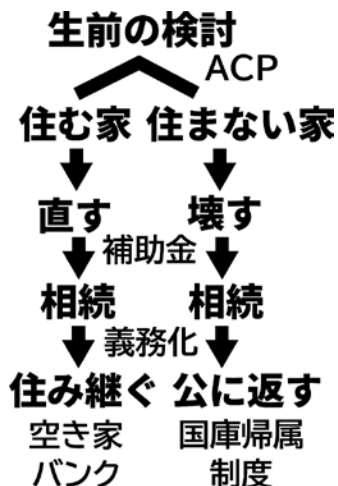
答 管理負担が大きい。熱中症対策は別の手段を講じたい。

○お客様から「お互い様」へ

問 デマンド型乗合交通はタクシーと同じ免許要件か。

答 タクシーと異なり一種免許も講習を経て運転可能である。

問 ファミリーサポートセン



答 ターは遊びを通じて活性化を。交流の機会を増やしたい。

問 地域自治協議会の介護予防活動支援事業は担い手の趣味や特技を活かせるようにすべき。

答 非常に大切な要素である。

問 隣保館デイサービスを立ち上げ支え合いの促進をすべき。

答 現行の介護予防事業の状況や市民の需要を元に検討したい。

問 朝来市人材バンクを通じてこれら支え合いの振興を。

答 生涯学習の理念上、そのような成果にもつながられる。



個人質問

市民にやさしい生活を

浅田 郁雄



○人口減少について

問 令和5年で、1年間に生まれた人数が124人、死亡した人数が445人、約300人以上も減少しているがどう思うか伺う。

答 10年前は自然減が219人だったが、令和5年では自然減が358人という状況である。よって自然減を実感せざるを得ない状況である。

問 人口減少を食い止める為に特に力を入れていることはあるのか。

答 子どもを産み育てる世代の女性に選ばれる朝来市になり出生数を増加させること。

問 和田山夏まつり花火大会について、市長の思いを伺う。

答 花火大会について大いに期待している。実行委員会の設置に向けて尽力頂いた関係者の皆さんに感謝したい。

問 市の職員の協力に対してどのように思うか。

答 役割分担を考えながら必要



▲あさご夏祭りの花火大会

にに応じて人的な支援をしたい。また、補助金も交付したい。

問 介護保険料について、市内に合計所得金額が820万円以上の方が何人で、80万円以下の方は何人いるのか。

答 合計所得金額が820万円以上の方は73人、80万円以下の方は997人である。

問 合計所得金額80万円以下の方から月に1710円を徴収している。市独自の元氣応援券を支給して欲しい。

答 今後検討して考えたい。



個人質問

竹田地域の活性化を目指して

足立 義美



○冬季の開山に向け前進

問 竹田城跡の冬季開山について、令和6年頃までに検討と聞いているが、状況はいかがですか。

答 冬季は登山道の凍結や積雪等を考慮し、安全を重視して市内宿泊者限定で、竹田城跡ガイド付き登城など、仕組みを検討している。今年度からの導入を目指し関係者と協議を進めたい。

○赤松広秀の資料・情報収集を

問 特色ある学校づくりで郷土愛を育てるためには、歴史文化に接する機会をより多くする必要がある。赤松広秀の情報収集を市として積極的にやっていただきたいかがですか。

答 地域の発展に尽力した人物を深く知ることは、郷土愛を育むきっかけになるため、今後とも関係機関の協力を得ながら、情報収集に努めてまいりたい。

○市内関係者の蔵書充実を

問 市内の出身、市内関係者の図書館蔵書の充実を図っていた



▲蔵書充実が望まれる和田山図書館

だきたいと考える。例えば、原六郎については貸出不可の図書となっている。さらなる収集充実を図っていただきたいかがですか。

答 図書館では市内出身者や歴史、民俗等に関する書籍を郷土資料として積極的に収集している。先人の素晴らしい功績や作品に触れ、市民の皆様が夢や希望を持ち、シビックプライドを育てる一助になるよう、今後も市内出身、市内関係者の資料収集に努めてまいりたい。

○本市のコロナ対応について

問 感染法上の位置付けが、5類に移行して1年が経過した今、コロナの経験を検証・総括しておく必要があるのではないかと。

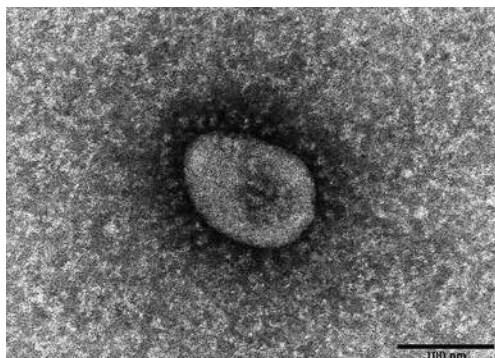
答 今後発生し得る新たな感染症に対しても、危機管理体制の構築が重要だ。これまで得られた知見、経験を生かし、感染症対策に有効である体制、仕組みを継続する。関連機関と連携を深め、備えを進める必要がある。

問 コロナに罹ってしまった方への後遺症問題を検討する必要があるのではないかと。

答 国や県からの情報を適切に把握しながら、市の医師会と連携しつつ、正しい情報を適切に伝えていく。

問 コロナから学んだ教訓は。

答 未知の災害に対する危機管理対応の大切さ、感染などを恐れる気持ちや不安から偏見や差別を生み出し、新たな問題が起きること。次なる感染症への備え。継続した情報発信の強化、



▲新型コロナウイルスの電子顕微鏡写真（国立感染症研究所）

適切な情報発信に取り組む必要。

問 学校教育の現場において、コロナによって失われたものはどのようなものがあるか。

答 受け止め方によって感じ方の差はあるが、代表的なものを挙げると、活動が制限されたことによって、友達同士の交流、学校における体験学習の機会、交流のあった方と充分な交流時間が持てない。また、儀式的な行事、運動会、発表会など、地域や保護者の方に見て頂く機会が失われたと考えている。



個人質問

今こそコロナを考える

松井道信



個人質問

住んでよかった朝来市に！

関 綾乃



○第4次朝来市男女共同参画プランについて

問 女性の政治参画を推進することは社会生活の質をもう一段高いレベルにつながる。研修や経験を積み、その集大成の一つとして女性模擬議会を実施してはどうか。併せて、答弁者には各部署を代表した女性職員の方がチャレンジしてはどうか。

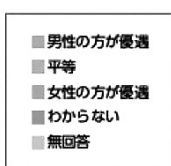
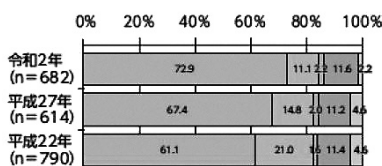
答 女性の意見を直接伺う場として有益であると認識を持っている。今後検討する。

問 女性がその能力を遺憾なく発揮し、リーダーシップを取るなどの経験を積む場として「女性リーダー養成講座」を開催してはどうか。

答 就業支援や情報発信など特定分野でのリーダー養成講座は実施してきた。先進自治体の事例も参考にしながら、女性が活躍できる環境整備の一環として女性議会、その前段として女性リーダー養成講座なども必要と思っている。

男女の地位の平等感

政治の場



▲依然として「男性の方が優遇」が高い。
(資料：「朝来市人権についての市民意識調査」)

問 地域防災力を高めるためには女性や高齢者だけでも地域を守り抜く・自分たちの命や財産を守り抜くという意識が必要。どのような策が有効と考えるか。

答 災害発生時に的確な行動が取れるよう災害に関する正しい知識・防災対応等について、自主防災組織の育成強化に努める。その際、女性や若者の参画促進に努めるとも計画されている。



個人質問

暮らしやすいまちをめざして

上田 幸広



○避難所のトイレについて

問 本年1月1日に発生した能登半島地震では、多くの避難所でトイレが断水で使用不能となり携帯トイレも不足し大きな問題となった。この教訓を踏まえ、本市における携帯トイレの備蓄の現状と今後の方針を伺う。

答 現在、災害時の携帯トイレを3500個、簡易式移動トイレを18基保有している。今後は、近隣市町の状況も調査し本市に合った備蓄、備品の整備を進める。

問 いざという時に備え一斉避難訓練において携帯トイレを使用してみてもどうか。

答 研究、検討させて頂く。

○横断歩道の安全対策について

問 兵庫県では県内1万か所の消えかかった横断歩道のラインの引き直しを計画している。市民が危険な箇所を発見した場合の市の対応は。

答 市民からの要請には、その都度、南但馬警察に要請の取次

を行っている。

問 LINEを利用した「市道の損傷等通報システム」の利用実績は。

答 令和5年度16件、令和6年度5月末で3件。多くが舗装路面の損傷で、速やかに現地に赴き、適切に対応している。

○歯と口腔ケアについて

問 虫歯予防のために、こども園から中学校までフッ化物洗口を実施すべきでは。

答 歯科医での個別対応を保護者にご案内している。



▶最低3日分の備蓄は必要！

朝来市は消滅するのか？

横尾 正信



問 人口戦略研究会が再び消滅可能都市のリストを発表した。依然として朝来市が含まれているところか但馬地区の5つの自治体はほぼ全部が含まれている。全国でこんな地域は少ない。

答 深刻に考えている。しかし過去どこよりも早く人口問題を最重要の課題としてきた成果もあり、ポイントは改善されている。今後もあらゆる政策を動員して取り組みを進める。

問 この問題の深刻さを政府はまだよくわかっていない。韓国の人口減少は世界一であり日本より深刻だ。合計特殊出生率がついに0.72まで低下して歯止めが効かない。韓国政府は非常に非常事態宣言を出して、国の消滅がかかっているとして全力をあげるとして、ソウル一極集中の改革、外国人移民制度の本格導入を掲げた。やる気である。しかし日本は出生率の改善に目標を定めるばかりで、失敗する。

答 韓国の状況には注目してい

出生率と人口減少率(兵庫県)

地域	出生率	減少率(2065)
但馬	1.68(1位)	68%(1位)
淡路	1.62(2位)	65%(2位)
丹波	1.54(3位)	58%(3位)

▲出生率の向上は朝来市の人口減少に寄与しない。

問 日本の構造改革には手をつけず、出生率の改善を地方自治体に押し付ける政府に対して26人の県知事などついに多くの自治体が抗議を始めた。首都圏一極集中の是正なくして地方の再生はない。市長、朝来市を含めて、全国の自治体が団結し立ち上がって、政府に日本の構造改革を迫るべきではないか。

答 近隣の市町とも十分協議してそうした方向で取り組みたい。

○外国人観光客を誘致せよ！
問 兵庫県内で外国人観光客が最も多いのは、姫路城で、城崎温泉は過去に六年で四十五倍の入込客だが、ルートは姫路と神戸と京都と城崎で、逆ルートを開発すれば、播但線を活性化できる。また、素泊り需要が多いが、豊岡市は難題。当市が民泊事業を推進すれば交流人口増が

期待できる。やる気はないか。
答 国内外の誘客に、宿がどれぐらい必要か、民間の活力と併せて考えていきたい。
○和田山駅は社会資本整備を
問 駅前開発で、人の集まりを産む他市町の成功例からも、和田山駅の使い勝手は大変悪い。一本柳の店舗へのアクセスも最悪。不十分な計画だと、自由通路も蛇足に終わる。開発には社会資本整備が不可欠と考えるが、

朝来市内で、女性が活躍し産み育てていけるまちづくりを進めていきたいが、賃金の格差があり多い所に人が集まる。働きやすい環境づくりも、しっかり整備したい。
○千人に対する出生数を重視を
問 合計特殊出生率は、朝来市一・六二東京都は〇・九九、しかし、人口千人に対し出生数は朝来市六・七人、東京都八・三人で、合計特殊出生率以上に重視する必要があるし、若い女性の数が増えないと人口減は続く。働き場づくり、賃金増、都市並みの生活圏の整備が不可欠である。
答 朝来市内で、女性が活躍し産み育てていけるまちづくりを進めていきたいが、賃金の格差があり多い所に人が集まる。働きやすい環境づくりも、しっかり整備したい。



▲空き家の民泊事業推進とインバウンドで播但線活性化

問 民間の活力を最大限活かした手法を研究したい。



個人質問

消滅自治体返上

生き残り朝来市！

日下 茂



議会報告会をケーブルテレビで行います

各委員会の取組み等について、委員会ごとに制作した番組をケーブルテレビで放送します。

●日程

令和6年8月20日～26日
(7日間 1日3回放送予定)

※放送時間については番組表をご覧ください。

※市議会ホームページ上でも議会報告会の映像を公開する予定です。

●テーマ

- 総務常任委員会
総務常任委員会活動実績
- 文教民生常任委員会
「健幸」になろう！
- 産業建設常任委員会
上下水道部担当業務について
- 朝来市自治基本条例検証特別委員会
自治基本条例を市民のものに

3件の審査請求について政治倫理審査会を設置し、審査しています。

該当条項

朝来市議会議員倫理条例第3条第1項第1号

市民全体の代表として、その品位と名誉を損なうような一切の行為を行わず、その職務に関して不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと。

内 容 ※原文のまま引用

① (令和6年4月1日受付)

令和5年12月25日第15回朝来市議会定例会において、吉田俊平議員から極めて不当な発言があった。現在の産業建設常任委員会並びに朝来市議会議員として私個人に対する誹謗中傷に他ならない。
(※以下、紙面の都合上割愛)

② (令和6年4月2日受付)

令和5年2月10日に行われた産業建設常任委員会における吉田議員による、私(藤本邦彦)に関する虚偽の発言と名誉を毀損する発言

③ (令和6年4月3日受付)

令和5年2月10日に行われた産業建設常任委員会における吉田議員による「よふどの恵」及び細見守に対する虚偽発言によって、著しく名誉を毀損された。



▲コウノトリの巣塔を見守る子供たち

が地域住民の募金をもとに巣塔を設置しました。設置から三か月後にはペアが巣作りを始め、毎年ヒナが誕生し今年も三羽が巣立ちました。

小学校では毎年ヒナの足環付けを見学し生まれてきたヒナに名前を付け、やがてこの地域を離れても地域全体で見守ってきています。遠くは沖縄県宮古島まで行った個体もあり、飛来した地域の方と交流することも行われています。コウノトリを通して自分たちの周りの自然に目を向け、あらためて自分たちの地域の自然の豊かさを再認識するきっかけになっています。

2021年には子育て中の親鳥が交通事故で亡くなり、その後も厳しい自然界では巣立ったヒナたちが亡くなるケースも出ています。くちばしに人が捨てたと思われるリングがはまって何日も餌が捕れなくなってしまった時には、子供たちはすぐさまみんなの願いや「心は一つ!!」と書かれた横断幕を作成し、現地に送って回復を祈ったり、再びこのような悲しい事故が起きないように自主的に地域内のごみ拾いを始めたりするなど、積極的に活動しています。コウノトリと深くかかわる中で、生き物の命、そして自分たちの命についても考える機会にもなっています。

朝来市でも今後飛来するコウノトリが増える状況ですので、市と地域、そして学校が情報を共有しながら、コウノトリが安心して住める環境、ひいては私たちが住みやすい環境をみんなで作り上げていければと思います。



あなたの写真が表紙に！

議会だよりの表紙に市民のみなさんが撮影した写真を募集します。ご応募お待ちしております。



次号 第92号
令和6年11月5日
発行予定

9月5日
〆切



表紙写真応募方法の詳細はこちら

9月定例会の予定

月	火	水	木	金
		8/28	8/29	8/30
		本会議		本会議
2	3	4	5	6
			一般質問	
9	10	11	12	13
一般質問	一般質問	文教民生 常任委員会		産業建設 常任委員会
16	17	18	19	20
	総務 常任委員会		文教民生 常任委員会	産業建設 常任委員会
23	24	25	26	27
30 本会議	総務 常任委員会			予算決算 特別委員会

最新の日程については、朝来市議会ホームページをご覧ください。